

集団乳がん検診（マンモグラフィ検査）の留意事項について

R7年度版

しこりや乳頭分泌等 自覚症状のある方	気になる症状がある場合には、検診ではなく、すぐに医療機関を受診してください。
乳腺疾患で医療機関に通院中 または経過観察中の方	医療機関を受診してください。
妊娠中または妊娠の可能性がある方	放射線被ばくによる胎児への影響等を考慮するため、受診できません。
授乳中の方	検査直前に絞ってください。検査当日は、授乳中である旨をお申し出ください。
インスリンポンプ、持続グルコース 測定器を装着している方	なるべく医療機関での受診をおすすめします。 ただし、医師の許可があり、当日にご自身で取り外しが可能な場合は、受診できます。（装着したままでの受診はできません）
乳がんの既往歴のある方	【10年未満の方】原則、医療機関を受診してください。主治医から検診の許可があった方は可能です。 【10年以上の方】医療機関にてマンモグラフィ検査と超音波検査の両方を受診することが望ましい ので、なるべく医療機関での受診をおすすめします。
乳房再建術を受けた方	再建術をしていない側は検査可能です。
豊胸術※を受けた方	挿入物は画像の正確な判定が困難になりますので、受診できません。
豊胸術※を受け、現在は挿入物を除 去している方	【抜去後1年未満】術後1年未満は、受診できません。 【抜去後1年以上】組織損傷等のリスクが高いため、なるべく医療機関での受診をおすすめします。
右記載の項目にあてはまる方	・心臓ペースメーカーを装着している ・植込み型除細動器等人工物を挿入している方 ・シャントチューブ、ポートを挿入している方 破損の危険性がありますので受診できません。

※豊胸術：シリコンバック、生理食塩水バック、脂肪注入、ヒアルロン酸注入など
※制汗スプレー、パウダー、シートなどは使用しないでください。